

仁徳天皇陵古墳

仁徳天皇陵古墳は日本最大の古墳だ。総面積は 32.3 ヘクタールあり、世界でも最大級の古代墳墓だ。

仁徳天皇は日本の第 16 代天皇だと考えられている。720 年に歴史を編纂した日本書紀によると、仁徳天皇の即位は 313～399 年であった。また、仁徳天皇が度重なる水害から守るために大きな堤防を築造したと日本書紀に書かれているが、この記述が正しいければ、日本初の大規模な工学プロジェクトであったことだろう。

この場所を管理する宮内庁は、この古墳が仁徳天皇の墓であると言っている。しかし、古墳群は 5 世紀半ばに築造されたようである可能性が高いため、仁徳天皇がここに葬られたことを示す歴史的証拠はないと考える専門家もいる。宮内庁が天皇に敬意を払って墓の内部調査をしていないため、誰の墓であったのかはおろか、何人が墓に埋められているのかも確認することはできない。

宮内庁は誰であっても墳丘に立つことを禁止している。南側の堀には鳥居と拝観できる場所があり、そこから墳丘の低い部分が見える。風光明媚な遊歩道は、1 周に約 1 時間かかる。